



フィクサチーフ

ふいくさちーフ



概要

フィクサチーフ（定着液）は、合成樹脂をエチルアルコール等で溶解した液体で、完成した木炭や鉛筆、コンテなど描いた作品表面へ、噴霧器などで霧状にして吹き付けることで薄い皮膜を作り、色材と支持体を定着・保護します。一般的には市販のスプレー缶に封入されたタイプのを噴霧する方法が、より手軽で多く用いられています。また、その他に、パステル用として石油系の溶剤を用いたフィクサチーフなどもあります。

木炭やコンテなどの描画材は、主に色材成分（顔料・炭など）のみで構成されているため支持体（紙など）に定着する力が弱く、描いた作品の表面は非常に粉っぽく不安定な状態で、汚損や色材の剥落が起きやすくなっています。そこで、完成した作品表面にフィクサチーフを吹き付けることで、色材成分を支持体に定着させ保存性を高めることができます。（色材成分の性質上、堅牢に定着させることは困難です）

内容成分である合成樹脂は、以前にはシェラック（ラックカイガラムシの分泌液）やコロホニウム（松脂）、ダンマルなどの樹脂が用いられていましたが、最近ではポリビニールブチラル樹脂やアクリル系樹脂、セルロース誘導体などが用いられています。

使用する際は、換気を良くすることが必要です。また、引火性があるので火の気がある場所での使用は避けましょう。購入先については、一般的な画材店や文房具店などで手に入れることができます。

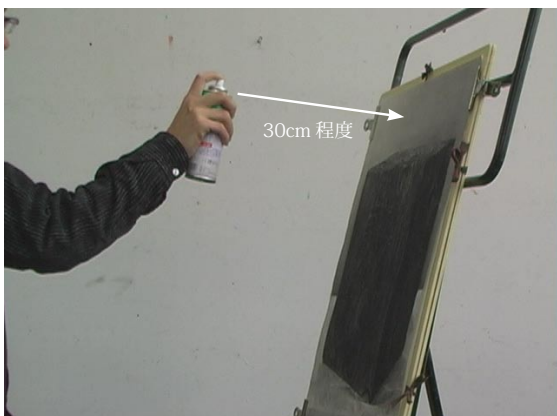
使用方法



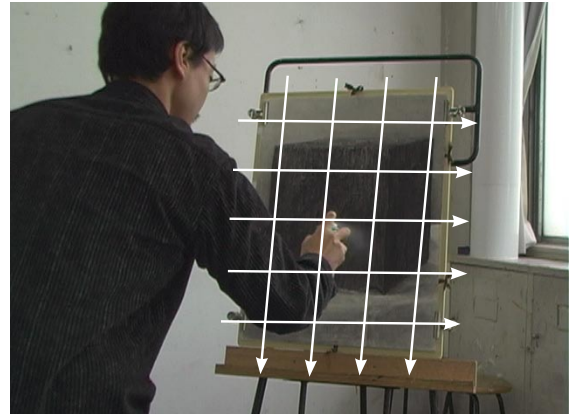
手順1. 窓を開け換気をよくしましょう。



手順2. 使用前に缶をよく振り、画面の外で空ぶきをして、噴霧の状態や噴射量を確認します。



手順3. 缶は立てたままで、画面から30cm程度離れた位置から噴霧します。近づけ過ぎると、描画材の木炭などが流れてしまいます。

手順4. 噴霧する方向は、画面と平行に一定の距離を保ったまま、左から右へ等間隔で繰り返して、次に上から下へ同様に等間隔に繰り返します。画面全体にまんべんなく噴きつけ終わったら、5分程度乾燥させます。
※図中の矢印は噴霧方向を便宜的に示したもので、実際の噴霧時の間隔を示したものではありません。

手順5. 使用後は目詰まり防止のため、缶を逆さにして空ぶきをしましょう。